

佐久バルーンフェスティバル2024 協賛プログラムのご案内



佐久バルーンフェスティバル組織委員会
事務局 佐久市役所観光課 担当 大井
TEL 0267-62-3285 FAX 0267-62-2269

Ⅰ バルーンフェスティバル開催概要

名称 : 2024熱気球ホンダグランプリ
佐久バルーンフェスティバル2024

開催場所 : 佐久市千曲川スポーツ交流広場 (佐久市鳴瀬505-1)

開催期間 : 令和6年5月3日 (金・祝) から5日 (日・祝) 3日間

参加気球数 : 約40機

観客数見込 : 33万 (2019年参考値 32万8千人)

来場者割合 : 市内県内50.2% 関東首都圏32.6% その他17.2%

主催者 : 佐久バルーンフェスティバル組織委員会

特別協賛 : 本田技研工業株式会社

協賛企業 : 山崎製パン(株) ほかに約200社

パブリシティ実績 :

テレビ (NHK、**NBS**長野放送、**ABN**長野朝日放送、**TSB**テレビ信州、佐久**CATV**等)、
新聞 (信濃毎日、読売、毎日、産経、佐久市民新聞等)、ラジオ、雑誌、告知 (インターネット広告等)



新聞等掲載実績(2023、一部)

佐久市 熱気球の祭典に35万2000人来場

過去一番の盛況



佐久市で31日開催された第1回「佐久バルーンフェスティバル」の観客数が過去最多の35万2000人になったことが、主催のフェス組織委員会のまとめで分かった。組織委に入る佐久市観光局は30周年記念企画を画した初のオープニングパレードなどを盛り込んだ方針。「4年ぶりの通常開催でもあり、多くの人が来てもらったのではないかと考えている」。

観客数はメイン会場の千曲川スポーツ交流広場の駐車場で止められた車の台数やシャトルバスの運行数などで算出した。一日の観客数が最も多かったのは4日の17万6000人で、夜に熱気球と花火が共催するバルーンイリュージョンがあった。3日は15万7000人で、佐久名産のコイをたどった市の熱気球「佐久の鱈太郎」のお披露目もあった。初代の熱気球は1973年に、翌年中は地味なデザインで、規模も小さい。フェスは中止し、バス出店もなかった。2019年の総勢8万1000人の第1回の観客数は約2万人。昨年までの最多は2017年の約20万人だった。

30周年を記念した佐久バルーンフェスティバルの観客数は過去最多の35万2000人だった。

恋人に会いたい—娘役は太郎山と虚空蔵山を縦走

民話の世界観 演劇で体感

上田で13日「普段と違う感覚で楽しんで」



上田市の民間文化施設「劇」の「恋に会いたい—娘役は太郎山と虚空蔵山を縦走」が、13日（土）に上田市の民間文化施設「劇」で上演された。この演劇は、上田市の民間文化施設「劇」が主催する。この演劇は、上田市の民間文化施設「劇」が主催する。この演劇は、上田市の民間文化施設「劇」が主催する。

信濃毎日新聞5月10日

佐久市役所観光課

佐久高原のさわやかな風に乗って色とりどりの気球が飛行

佐久バルーンフェスティバル2023



5月大型連休中に開催される県下最大級の熱気球イベント。40機ほどの色とりどりの気球が佐久高原のさわやかな風に乗って飛行する姿は圧巻で、全国から多くの観光客が訪れる。会場では熱気球に乗る係留体験のほか、ステージイベントや出店、体験ブースなどさまざまな催しが行われる。千曲川スポーツ交流広場にて5月3・4・5日に開催。

●佐久市観光課 ☎0267(62)3285
JR佐久平駅から車10分

佐久市

佐久バルーンフェスティバル2023

全国のパイロットが日本一を目指し、熱気球の技を競う。熱気球係留体験、出店、体験ブース、ステージイベントなどが行われる。●5月3日～5日 佐久市観光課 ☎0267(62)3285

佐久市

子どもの健やかな成長を願う

第61回 佐久寝まつり

佐久の賑わいと子ども達の健やかな成長を願うお祭り。新生児出生健康折額など、新しい生活様式に対応して、千曲川スポーツ交流広場にて開催。●5月5日 佐久市観光課 ☎0267(62)3285

THE信州4月発行

2023熱気球ホンダグランプリ第1戦

佐久バルーンフェスティバル2023

5月3日(水・祝)～5日(金・祝)

競技
6:00～15:00 ※5日は6:00～のみ

場所
長野県佐久市 千曲川スポーツ交流広場

問合せ
佐久バルーンフェスティバル組織委員会事務局
0267(62)3285(直通)
公式HP
<http://www.sakukankou.jp/balloon/>

埼玉新聞4月6日

熱気球 次々と佐久の空へ

全国から熱気球が集う佐久市の「佐久バルーンフェスティバル」が3日、市内の千曲川スポーツ交流広場をメイン会場に3日間の日程で始まった。初日は晴れ、シャトルバスや係留体験のほか、市名産のコイをたどった熱気球「佐久の鱈太郎」が披露された。

午前6時、最初の競技フライトが開始。競技に加わらない観客も、熱気球の姿が次々と地面を離れ、千曲川上空を舞い上る様子に大興奮した。色とりどりの熱気球が空を彩り、観客の歓声が上がる。午後3時、伊勢原航空団の千曲川上空を飛行する様子も観客の注目を集めた。熱気球は、観客の注目を集めた。熱気球は、観客の注目を集めた。

バルーンフェスティバル 4年ぶりの通常開催



観客数は過去最多の35万2000人だった。

信濃毎日新聞5月4日

2 イベントの特徴

【概要】

信州に春の訪れを告げる「佐久バルーンフェスティバル」は、5月大型連休中の県下最大級の熱気球イベントとして、今年で32回目の開催。県内外から大勢のお客さんが来場されます。

花と緑が眩しい季節に開催される本大会は、千曲川の清流と信州の美しい山々を背景に、色とりどりのバルーンが次々と大空に離陸していく姿が、多くの方に感動を与えます。

また、4日夜からは、バルーンのパナーと花火と音楽の競演「バルーンイリュージョン」が開催され、昼間とは一変した幻想的なバルーンの姿が会場を鮮やかに彩る。

白熱した競技のほか「子どもたちに感動を」を、テーマに様々な体験イベントやステージイベントを用意し、会場内で一日中楽しむことが出来るイベントとなっています。

【開催意義】

- 1 誰もが抱く大空への憧れを形にした「イベント」
- 2 老若男女、すべての方が楽しめる「夢のモビリティ」
- 3 全国トップレベルのパイロットが本気で挑む「競技レース」

3 ご協賛メリット

— 大会プログラムを通じて広く情報発信が可能となります —

佐久バルーンフェスティバルは県内トップレベルの観客数を誇る佐久市の一大イベントです。県内外から毎年大勢のお客様がお見えになる、県下最大級の熱気球イベントとして全国から注目を集めています。

— ご協賛企業のイメージアップにつながります —

本大会を代表するスカイスポーツへのご協賛は、企業様の明るく、活発的なイメージを印象付けてくれるものと考えます。

— 関心の高い方に手に取っていただけます —

大会プログラムは、バルーン会場において配布・販売を行っており、唯一の大会資料として高い人気をいただいております。

— 皆さまの協賛金が大会を支えております —

皆さまから頂戴いたします協賛金につきましては、佐久バルーンフェスティバルの大会運営や会場設営費のため大切に使用させていただきます。

4 広告等の協賛タイプ

種類	ご協賛金額	サイズカラー等	スポンサー看板
プログラム 2千部印刷	40万	表紙裏A4フルサイズカラー(横18cm×縦26cm)	あり
	20万	A4フルサイズカラー(横18cm×縦26cm)	あり
	10万	A4フルサイズモノクロ(横18cm×縦26cm) 又は A4 1/2サイズカラー(横18cm×縦13cm)	あり
	5万	A4 1/2サイズモノクロ(横18cm×縦13cm)	—
	3万	A4 1/5サイズモノクロ(横18cm×縦5.2cm)	—
	2万	A4 1/10サイズモノクロ(横9cm×縦5.2cm)	—
	1万	A4 1/16サイズモノクロ(横9cm×縦3.2cm)	—

スポンサー看板(フォトパネル) サイズ横270cm×縦180cm



【設置位置 (予定)】

